



文化庁委託事業「令和元年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

## 新国立劇場 演劇研修所 第13期生試演会

# 『会議』

作：別役実 演出：西川信廣 出演：新国立劇場 演劇研修所研修生 ほか

2019年10月25日(金)～30日(水)

新国立劇場 小劇場

### 演劇研修所初！別役実作品に、第13期生が挑みます

2017年入所の第13期生が、8月の朗読劇『ひめゆり』の公演を経て、いよいよ新国立劇場小劇場での試演会に臨みます。

作品は、別役実作『会議』。1982年に手の会によって初演されて以降、多くの劇団で上演された傑作戯曲です。人間に備わっている〈会議本能〉を観察する「実験」を行う男と、集まってきた人々によって行われる「会議」。おかしさを含みながら不思議なリアリティとともに進行する不条理演劇、別役ワールド炸裂の作品を、演劇研修所副所長の西川信廣の演出でお贈りします。研修生活3年目を迎えた13期生の新しい挑戦にご期待ください。



2019年8月 第13期生朗読劇『ひめゆり』より



2019年8月 第13期生朗読劇『ひめゆり』より

#### ■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 研修主管 広報担当 田村昌子

Tel: 03-5352-5770 / Fax: 03-5352-5776 Email: [press@nntt.jac.go.jp](mailto:press@nntt.jac.go.jp)

#### ■新国立劇場 演劇研修所ホームページ

<https://www.nntt.jac.go.jp/play/training/>

#### ■新国立劇場 演劇研修所 Facebook

最新情報はこちら！

<https://www.facebook.com/nnt.dramastudio.tokyo/>

#### ■新国立劇場 演劇研修所 twitter

最新情報はこちら！

[https://twitter.com/nnt\\_dramastudio/](https://twitter.com/nnt_dramastudio/)

## 公演概要

作 　　： 別役 実  
 演 　　出： 西川信廣  
 美 術　： 乗峯雅寛  
 衣 　　裳： 西原梨恵  
 照 明　： 塚本 悟  
 演 出 助 手： 竹内晶美  
 音 楽　： 上田 亨  
 舞 台 監 督： 道場禎一  
 音 響　： 黒野 尚  
 出 演　： 新国立劇場演劇研修所 第13期生  
 　　　　今井仁美 大久保眞希 島田恵莉 松内慶乃 松村こりさ ユーリック永扇  
 　　　　河波哲平 河野賢治 宮崎隼人  
 　　　　高嶋柚衣(11期修了) 上西郷太(11期修了) 扇国 遼(12期修了)  
 演劇研修所長： 宮田慶子  
 主 　　催： 文化庁、新国立劇場

会 　　場： 新国立劇場 小劇場

日 　　程： 2019年10月 25日(金) 19:00  
 　　　　　 26日(土) 14:00 ※託児サービス利用可  
 　　　　　 27日(日) 14:00  
 　　　　　 28日(月) 19:00  
 　　　　　 29日(火) 19:00  
 　　　　　 30日(水) 14:00

※開場は開演の30分前です。

※26日(土)14:00のみ、託児所のご利用が可能です。

料金(税込)：	席種	A席	B席	学生券	Z席
	料金(8%税込)	3,240円	2,700円	1,000円	1,620円

10月1日以降、消費税率が改定された場合

席種	A席	B席	学生券	Z席
料金(10%税込)	3,300円	2,750円	1,000円	1,650円

※Z席は公演当日、ボックスオフィス窓口のみで販売。

※枚数制限はありません。就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※会員割引を含め、各種割引はございません。

※車椅子ご利用のお客様はボックスオフィスまでお問い合わせください。

※学生券はボックスオフィスの窓口・電話にて受け付けます。

お引き取りの際には、学生証または年齢を確認できるものが必要です。

チケッ ト： 新国立劇場ボックスオフィス／Webボックスオフィス

03 - 5352 - 9999／<http://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ【Pコード：496-292】

0570 - 02 - 9999／<http://pia.jp/t>

前 　　売： アトレ会員先行発売期間 2019年8月31日(土)～9月9日(月)  
 　　　　一般発売日 2019年9月11日(水) 10:00～

## あらすじ

舞台上には、一本の電信柱と、ぶら下がる電話の受話器。そこに、道具方たちが会議用の椅子とテーブルを運び込んでくる。「第一社会心理学研究所」の男が、我々人間に備わっているという＜会議本能＞を観察する「実験」をここで行うという。男が街中に貼った「会議」を知らせる張り紙によって、呼び寄せられた人々が集まり、「会議」が始まる……。

## スタッフ



### 演出：別役 実 (べつやく・みのる)

### 劇作家 (1937-)

1937年、旧満州（現、中国東北部）生まれ。劇作家、小説家、エッセイスト。日本の不条理演劇を確立した第一人者。

早稲田大学政治経済学部政治学科に入学、ベケットらの不条理劇に影響を受け、鈴木忠志らと劇団「自由舞台」（後の早稲田小劇場）を創設。その旗揚げ公演であった戯曲『象』（62年）で注目され、『マッチ売りの少女』（66年）と『赤い鳥の居る風景』（67年）で第13回〈新劇〉岸田國士戯曲賞を受賞。68年に早稲田小劇場を離れてからは、俳小、演劇集団円、木山事務所、俳優座、文学座アトリエなどに次々と戯曲を提供。72年に山崎正和、末木利文らと「手の会」を結成。71年『街と飛行船』『不思議の国のアリス』で紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。同年『そよそよ族の叛乱』で芸術選奨新人賞、87年に戯曲集『諸国を遍歴する二人の騎士の物語』で読売文学賞、88年『ジョバンニの父への旅』で芸術選奨文部大臣賞を受賞。98年には毎日芸術賞特別賞など受賞歴多数。2007年、劇作130本を達成する。

戯曲や童話のほかに、生物学の常識を覆す奇書のふりをしたジョークエッセイ『虫づくし』をはじめ、日本古来、および現代の妖怪の生態を解説した『もののけづくし』や、『けものづくし』『鳥づくし』『魚づくし』など「～づくし」シリーズは、ナンセンス作家としての著者を一躍有名にした。また衝撃的な事件の闇に包まれたメカニズムを鋭敏な目で分析した犯罪エッセイ、「犯罪症候群」などの独創的な論考も発表しており、その関心は森羅万象に及ぶ。新国立劇場では『マッチ売りの少女』『象』『月・こうこう、風・そうそう』が上演されている。演劇研修所では初めて。



### 演出：西川信廣 (にしかわ・のぶひろ)

### 演出家

文学座附属演劇研究所16期、81年座員となる。86年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてイギリスに滞在。ブリストル・オールドビックやナショナル・シアターでロジャー・リース、ピーター・ホールなどの演出助手を務める。84年文学座アトリエの会『クリスタル・クリアー』で文学座初演出。以来、文学座を中心に商業演劇から小劇場までストレートプレイを中心に幅広く活動中。新国立劇場での演出に『野望と夏草』（読売演劇大賞優秀演出家賞受賞）『母たちの国へ』。92年文学座アトリエの会『マイ チルドレン！ マイ アフリカ！』にて紀伊國屋演劇賞個人賞、芸術選奨・文部大臣新人賞。94年文学座公演『背信の日々』で読売演劇大賞優秀演出家賞ほか、受賞多数。東京藝大客員教授。日本劇団協議会会長。日本演出者協会理事。新国立劇場演劇研修所では設立時より現在まで副所長を務める。

## 出演者

### 演劇研修所 第13期生

<p>今井仁美 (いまい・ひとみ)</p>  <p>1990年生・埼玉県出身</p>	<p>大久保真希 (おおくぼ・まき)</p>  <p>1996年生・大阪府出身</p>	<p>島田恵莉 (しまだ・えり)</p>  <p>1994年生・愛媛県出身</p>	<p>松内慶乃 (まつうち・よしの)</p>  <p>1991年生・福島県出身</p>
<p>松村こりさ (まつむら・こりさ)</p>  <p>1996年生・愛媛県出身</p>	<p>ユーリック永扇 (ゆーりっく・えいみ)</p>  <p>1998年生・静岡県出身</p>		
<p>河波哲平 (かわなみ・てっぺい)</p>  <p>1994年生・京都府出身</p>	<p>河野賢治 (こうの・けんじ)</p>  <p>1996年生・兵庫県出身</p>	<p>宮崎隼人 (みやざき・はやと)</p>  <p>1988年生・岩手県出身</p>	

### 演劇研修所修了生

<p>高嶋袖衣 (たかしま・ゆい)</p>  <p>11期修了</p>	<p>上西郷太 (じょうにし・ごうた)</p>  <p>11期修了</p>	<p>扇国 遼 (せんごく・りょう)</p>  <p>12期修了</p>
--	--	--

## 新国立劇場 演劇研修所について

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強い身体を備えた次世代の演劇を担う舞台俳優の育成を目指して、2005年に設立されました。

研修期間は3年間で、原則として週5日間、午前10時30分～午後6時のレッスンを、1年を通して行っています。

1・2年次は基礎的俳優訓練とともに、第一線の演出家や俳優指導の専門家を軸とする講師陣によるシーンスタディを行い、3年次には修了公演に向けて数本の舞台実習公演を行います。

修了生は、新国立劇場公演のみならず、さまざまなプロデュース公演に出演するなど、活躍の場を広げています。

### 【今後の主な修了生出演作品】

地人会新社第9回公演『リハーサルのあとで』

(作：イングマール・ベルイマン、訳：岩切正一郎、演出：栗山民也、2019年9月)

森川由樹 (第6期生)

「Japan 2019」公式企画『アンティゴネ』

(作：ソポクレス、翻訳：柳沼重剛、構成・演出：宮城聡、2019年9-10月)

若菜大輔 (第3期生)

新国立劇場演劇 2019/2020 シーズン シリーズ【ことぜん】Vol.1 『どん底』 [新訳上演]

(作：マクシム・ゴーリキー、翻訳：安達紀子、演出：五戸真理枝、2019年10月)

長本批呂士 (第3期生)、クリスタル真希 (第4期生)、今井 聡 (第4期生)、永田 涼 (第10期生)、福本鴻介 (第12期生)

NODA・MAP 第23回公演 『Q : A Night At The Kabuki』 inspired by A Night At The Opera

(作・演出：野田秀樹、音楽：QUEEN、2019年10-12月)

八幡みゆき (第9期生)

劇団青年座 第239回公演 『東京ストーリー』

(作：松田正隆、演出：金澤菜乃英、2019年10月) 角田萌果 (第10期生)

明治座『ふるあめりかに袖はぬらさじ』

(作：有吉佐和子、潤色・演出：原田諒、2019年11月) 林田航平 (第5期生)

ホリプロ『カリギュラ』

(作：アルベール・カミュ、翻訳：岩切正一郎、演出：栗山民也、2019年11-12月)

西原やすあき (第2期生)、原 一登 (第4期生)、野坂 弘 (第7期生)、峰崎亮介 (第7期生)、

坂川慶成 (第8期生)、川澄透子 (第11期生)、小比類巻諒介 (第11期生)

KAAT・KUNIO 共同製作 KUNIO15『グリークス』

(編・英訳：ジョン・バートン、ケネス・カヴァンダー、翻訳：小澤英実、演出・美術：杉原邦生、2019年11月)

藤井咲有里 (第2期生)、永井茉莉奈 (第12期生)、中坂弥樹 (第12期生)

(ほか、テレビ・映画・CMなど)

本公演に出演する第13期生は、2017年4月に入所。3年次である今年度は、ANAの支援を受け5月に沖縄で4泊5日の国内研修を行い、8月に朗読劇『ひめゆり』を上演。10月に試演会『会議』、2020年2月に修了公演に臨み、3月に修了いたします。



2019年8月 第13期生朗読劇『ひめゆり』



2019年3月 第13期生シーンスタディ『三文オペラ』発表授業